

令和4年度学校関係者評価委員

■保護者

北村亜希子様(3年生保護者)

■企業関係者

牧野寛様(医療法人社団マイルストーン リハビリ統括)

■他校関係者

小宮山一樹様(専門学校社会医学技術学院 学科長補佐)

1. 教育理念・目標

【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	B
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A
【現状の問題点】		
特に問題はないと思われる		
【改善のための方策】		
継続して実施する。 3: 学生への教育理念・目標の浸透に関しては、年度初めや学期始めに学生クレドにて確認する。		
【関係者評価】		
特記事項なし。		

2. 学校運営

【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	A
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
9	組織内の連携は適切に図られているか。	A
10	上司の指示は適切にされているか	A
11	上司は提案を受け入れてくれているか	A
12	職場内での教職員教育・指導は十分なされているか。	B
13	BSCは適切に活用されているか。	B
【現状の問題点】		

設問12、13については、忙しい中なので時間の取り方をまず検討して行く必要がある。

【改善のための方策】

12:FD会議を活用し、計画的に実施していく。

13:業務スケジュールや学科会議資料の中にBSCの振り返りなど組み込んで実施・運用していく。

【関係者評価】

特記事項なし。

3. 教育活動

【自己評価結果】

		平均
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	B
15	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
16	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
17	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
18	関連分野における実践的な職業教育産学連携によるインターンシップ、実技・実習等が体系的に位置づけられているか	A
19	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
20	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	A
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	B
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A

【現状の問題点】

授業評価はどの科も時間をとるのが難しいので、動画に撮って時間がある時に見るなどを検討してはどうかと思う

【改善のための方策】

14:前後期の終わりに授業内容の振り返りは行っているが、実際の授業評価は実施できていない。授業評価の体制については今後検討していく。

【関係者評価】

特記事項なし。

4. 学修成果

【自己評価結果】

		平均
26	就職率の向上が図られているか	4.71
27	退学率の低減が図られているか	4.71

【現状の問題点】

特に問題ないと思われる		
【改善のための方策】		
継続して実施する。		
【関係者評価】		
特記事項なし。		
5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
28	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	3.86
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	4.29
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	4.14
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	4.29
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	4.71
【現状の問題点】		
特に問題ないと思われる		
【改善のための方策】		
継続して実施する。		
【関係者評価】		
特記事項なし。		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
33	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.86
【現状の問題点】		
いろいろと不都合もあるようなので、設備改善、購入計画を作成していく必要がある		
【改善のための方策】		
備品・設備の管理状況を定期的に確認し、不備に関しては購入計画を立てながら整備していく。		
【関係者評価】		

特記事項なし。

7. 学生の受け入れ募集

【自己評価結果】		平均
34	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法, 時期は適切か。	4.29
34	入学案内(パンフレット)には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	4.57
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	3.71
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	4.14

【現状の問題点】

体験入学の内容については常に見直しを行っていく必要がある

【改善のための方策】

35: 学生スタッフをOC運営にも携わらせて、模擬授業の内容や方法など検討していく。

【関係者評価】

特記事項なし。

8. 財務

【自己評価結果】		平均
38	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	4.29
39	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	4.29

【現状の問題点】

特に問題ないと思われる

【改善のための方策】

継続して実施する。

【関係者評価】

特記事項なし。

9. 法令等の遵守

【自己評価結果】		平均
----------	--	----

40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.29
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4.14
41	個人情報保護法を遵守しているか。	4.29
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	3.86

【現状の問題点】

ハラスメントについては、何か提案があれば委員会に伝えて行く必要がある。

【改善のための方策】

42: 教職員・学生に対する啓蒙活動を引き続き実施していく。また、ハラスメントに関する事案については、ハラスメント委員を通じて委員会に適宜報告する。

【関係者評価】

特記事項なし。